

Mutsu Athletics Club むつ陸上クラブ

DATA

- ・平成 15 年設立
- ・青森県唯一の小学生を対象とした私設の陸上クラブ
- ・全国大会に出場することで、むつ市のことをPRし、子どもたちの更なる成長を願う



RECORD

- 第 21 回青森県小学生駅伝競走大会 男女ともに優勝
- 田舎館城下クロスカントリーリレー大会兼全国小学生クロスカントリーリレー研修大会青森県予選 優勝
- 日清食品カップ第 20 回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会出場



1. 雪道でのトレーニング
2. 秋田県での駅伝大会に出場した際の様子

陸上競技の楽しさを経験させていという願いから始まったむつ陸上クラブは、設立から15年目。取材させていただいたこの日は時折雪が舞う天候でしたが、子どもたちは「それもトレーニングのうち」とばかりに冬の恐山街道を駆け抜けます。

道路上でのトレーニングから子ども達の安全を守るため、大人たちが集団の前後に必ず付き添います。その姿に「いきいきと夢に向かってジュニアアスリートになってほしい」というクラブの願いを見て取りました。

Yua Sumiyoshi 住吉雪愛

DATA

- ・平成 15 年 2 月 20 日生 (14)
- ・田名部中学校 3 年
- ・好きな食べ物は「麻婆豆腐」
- ・中学 1 年でジュニア大使としてアメリカポートエンジェルズ市へ



小さい頃から英語に対する興味があったという住吉さんは、入学してから3年間毎年英語弁論大会に出場し、今年創作の部で県1位を獲得、全国大会の舞台に立ちました。「自分だけに当たるスポットライトにすごく緊張しました。でも『きつと成功するさ』という感じで乗り切りました。全国大会でお友達もできたのでこの出会いを大切に、大学を出て英語を使う仕事を将来はキャンピアンダンストになりたいと思っています。」

持ち前の明るさで自身の未来を表現する住吉さんを私たちも応援しています。

RECORD

- 高円宮杯第 69 回全日本中学校英語弁論大会 青森県大会 創作の部 1 位
- 高円宮杯第 69 回全日本中学校英語弁論大会出場



1. 市長へ県大会 1 位を報告
2. 1 年生のときにジュニア大使としてポートエンジェルズ市へ派遣された経験は大きい



RECORD

2017 NIKE ANTLERS CUP U-12 出場

Mutsu FC Junior むつFCジュニア

DATA

- ・平成 11 年設立
- ・前述の藤森颯太さん、成田鷹見さんもクラブ出身者
- ・練習場所は第二田名部小学校グラウンド(冬は克雪ドーム)



設立からおおよそ 20 年を迎えるむつFCジュニア。クラブが存在し続ける理由はただひとつ「むつ下北でも、サッカーが楽しいと思う環境をつくってあげたい。」

監督、コーチ陣や父母会の厚いサポート体制のなか、のびのびとボールに向き合う彼らは昨年夏、2017 NIKE ANTLERS CUP U-12 青森県ラウンドで優勝し、全国大会の切符を手に入れました。

クラブからはすでに多くの若者が輩出され、全国レベルで活躍する選手や、サッカー関連の仕事をしている方も。子どもたちが大いに輝く未来を思い描いたとき、クラブの存在意義の大きさを感ぜました。

低学年にはサッカーの楽しさを、高学年には個々の能力を活かしたより戦術的な指導を



RECORD

- 第 70 回憲法記念下北駅伝競走大会 優勝
- 第 27 回青森県中学校女子駅伝競走大会 優勝
- 第 27 回東北中学校女子駅伝競走大会 出場
- 第 25 回全国中学校駅伝大会 出場



1. 校舎内でのトレーニングも全力で
2. 県大会で田名部中学校は女子が優勝、男子が準優勝を果たし、チーム力の高さを示した

青森県中学校女子駅伝競走大会で2連覇を果たし、青森県の代表として滋賀県にて行われた全国大会に出場した田名部中学校女子駅伝チーム。3年生2人、2年生4人、1年生が2人のこのチームは、みんな仲良く笑顔が絶えません。

「今年は雪が降るのが早く、外での練習があまりできていませんが、校舎内での練習で可能な限りのことをやって、チームの気持ちをひとつにしていきます。」とキャプテンの濱田小夏さん。(後列左)

チームとして臨んだ全国の舞台。この経験はかけがえのないものになりました。

Tanabu Junior High School 田名部中学校 女子駅伝チーム

DATA

- ・練習の始まりと終わりに必ず円陣を組み声を出す。駅伝はチームの気持ちをひとつにすることが大切
- ・レース中は先生の指導「動かす部分を意識して走れ」を思い出しながら走る

